

いも丸くんも応援します！

北上サポートーズ二子支部長

北上サポートーズ二子支部長着任式は4月28日、二子地区交流センターで行われ、同サポートーズ隊長のそばっちからいも丸くんに委嘱状が手渡されました。

国体の北上市実行委員会は現在、大会の運営ボランティア「北上サポートーズ」を募集しており、いも丸くんが名乗りをあげたことから、二子支部長に任命しました。いも丸くんは今後わんこダンスを覚えて、いものこまつりなど各種イベントで国体のPR活動を行います。

そばっち(左)から委嘱状を受け取るいも丸くん(右)



宿公民館の自主防災組織は定期的に夜回りなどを行っています

地区一丸で消火活動

消防業務一般協力者表彰

北上地区消防組合は12日、消火活動を行った黒岩宿地区住民を表彰し、地区代表として宿公民館長の昆美知男さん(写真左)と副公民館長の眞田善満さん(写真右)に感謝状と記念の盾を贈りました。

4月29日午後、同地区で火災が発生。気付いた近隣住民10数人が消火にあたりました。消防車が駆け付けるまでの間、バケツリレーで水をかけ、近所の人が提供した建設機械で燃焼物をよけるなどして火の勢いを抑えました。

伝統芸能で歓迎

福島県大熊町の小学校と交流

更木小学校と福島県大熊町の大野小学校と熊町小学校の交流会は14日、更木小学校で行われました。この交流会は、更木地区振興協議会などが同地区のもち米や桑茶などを、会津若松市に避難している大熊町民の行事に提供したことがきっかけで開催されました。当日は修学旅行で訪れた同町の6年生に同地区の伝統芸能「下舞」^{したまい}を披露し歓迎。各校の紹介の後、ゲームなどで交流を深めました。大野小学校の鈴木七海さんは「更木小学校はいいところですね」と話していました。

自己紹介や地元に関するO×クイズなどで交流しました



桜とともにスイセンも満開となり観光客の目を惹きつけています

満開のさくらを堪能

北上展勝地さくらまつり

北上展勝地さくらまつりは4月15日から5月6日まで行われました。昨年からの復活した、北上鬼剣舞連合会による群舞で東日本大震災犠牲者への追悼と復興を祈願。観光馬車や夜桜のライトアップ、北上川に鯉のぼりを泳がせるなど多様な催し物がまつりに彩りを添えました。

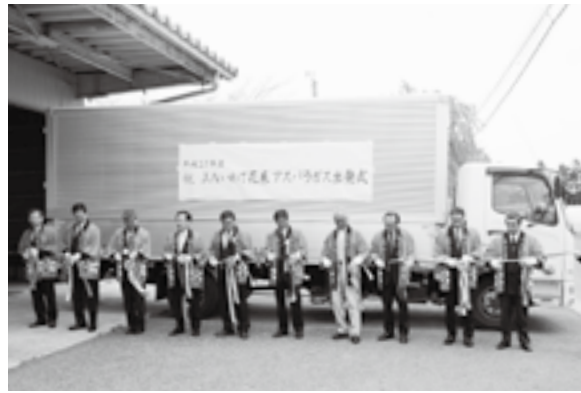
今年は例年より気温が高いため例年より8日開花が早く、まつり期間前半に見ごろを迎え、41万3,000人の観光客が展勝地を訪れまつりを楽しみました。

子どもの日を楽しむ 鬼の館わくわくイベント

「子どもの日わくわくイベント」は5日、鬼の館で開催されました。子どもの日を楽しんでもらおうと鬼の館が毎年行っている催しで、好きな妖怪の絵を風船に描く「ようかい風船」や、鬼剣舞の面に色を塗る「お面に色つけ」など多彩な体験コーナーを、たくさんの親子が楽しみました。

「鬼に変身」のコーナーでは、鬼剣舞の衣装を着た阿部志穂くん(6歳・鍛冶町)と弟の輝人くん(2歳)が「楽しかった」と笑顔で話していました。

鬼剣舞の衣装を着てかわいい鬼に変身した子どもたち



この日は300キログラムのアスパラガスがトラックに積み込まれ、出荷されました

みずみずしさを全国へ アスパラガス出発式

27年産JAいわて花巻アスパラガス出発式は12日、アスパラガス選果場(和賀町煤孫)で行われました。式では、岩崎鬼剣舞が奉納された後テープカットが行われ出荷を祝いました。その後、生産者役員手作りのピクルスなど試食メニューが振る舞われました。花巻農協のアスパラガスは県内一の栽培面積と販売額を誇ります。同農協北上地域野菜部会アスパラガス専門部長の八重樫真純さんは「みずみずしいアスパラガスを大勢の人に食べてもらいたい」と話していました。

追悼の黄色い羽根運動 飯豊橋バス転落事故慰霊祭

飯豊橋バス転落事故慰霊祭は14日、現場近くの花北モータースクール敷地内で行われ、犠牲者の同級生らが献花、追悼し改めて交通安全を誓いました。事故は昭和30年5月14日、国道4号線の飯豊橋で発生。花巻市石鳥谷町の旧八日市小学校6年生34人と教諭、保護者らが乗ったバスが橋から転落し、児童4人を含む12人が亡くなりました。事故をきっかけに始まった「黄色い羽根」運動は交通安全のシンボルとして全国に広がりました。

当時バスに同乗していた人10人も列席し献花をしました



ステージ上で揮毫する翔子さん(左)と泰子さん(右)

神授の世界 金澤翔子さんによる揮毫実演

金澤翔子支援グループ実行委員会北上・Oni主催の「ダウン症の天才書家・金澤翔子神授の世界」は4月25日、さくらホールで行われました。

観客が見守る中、金澤さんが大きな筆で「共に生きる」と揮毫。力溢れる文字に客席から大きな拍手が沸き起こりました。母・泰子さんによるトークショー「闇の中にこそ光がある」では、ダウン症を告知されてから今までの母の苦悩や喜びが話されたほか、翔子さんとの楽しい掛け合いも披露されました。